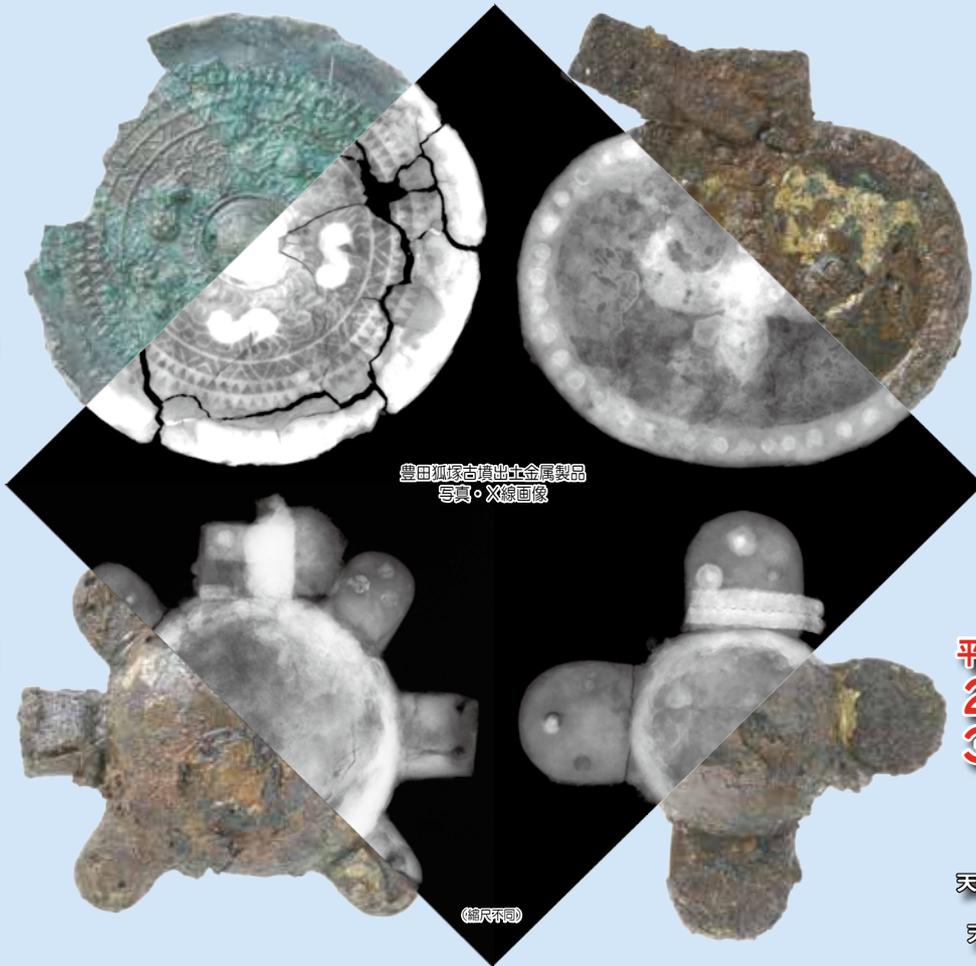


天理市埋蔵文化財センターだより Vol.27

平成30年度冬の文化財展

平成31年
2月9日(土)~
3月3日(日)

〔会場〕
天理市文化センター
〔主催〕
天理市教育委員会



平成29年度発掘調査速報展
豊田狐塚古墳の遺宝 — 保存処理の成果から—
古墳の3次元測量調査

平成30年度冬の文化財展

第Ⅰ部 平成29年度発掘調査速報展

第Ⅱ部 豊田狐塚古墳の遺宝—保存処理の成果から—

第Ⅲ部 古墳の3次元測量調査

平成31(2019)年2月9日(土)~3月3日(日)

※ 9:00~17:00

※ 月曜日、11日(月・祝)、12日(火)は休館

会場: 天理市文化センター1階展示ホール

◎文化財講演会

会場: 天理市文化センター1階展示ホール

日程: 平成31年3月3日(日) 14:00~16:00

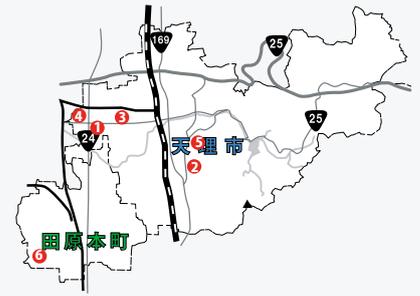
天理市内には、原始・古代から近現代に至る数多くの文化財が所在します。天理市教育委員会文化財課では、平成18年度より夏と冬、年2回の文化財展示をおこない、市内の文化財と市の歴史について理解を深めていただけるよう努めています。

今回のセンターだよりでは平成30年度冬の文化財展特集として、平成29年度に天理市教育委員会が実施した発掘調査や、同年度中に実施した古墳出土金属製品の保存処理、古墳の航空レーザ測量など、様々な調査・研究の成果をご紹介します。

第I部 平成29年度発掘調査速報展

天理市教育委員会文化財課は市内遺跡を対象とした発掘調査を実施しています。今回は平成29(2017)年度におこなった4件の発掘調査の成果と、天理大学との共同調査1件を取り上げるほか、田原本町教育委員会の調査成果のうち1件もご紹介します。

- ① 稲葉遺跡第2次
- ② 成願寺遺跡第23次
- ③ 平等坊・岩室遺跡第36次
- ④ 菅田遺跡第2次
- ⑤ 東乗鞍古墳第2次
- ⑥ 佐味遺跡第4次



稲葉遺跡 第2次

いなばいせき

①

店舗建設に伴い稲葉町・嘉幡町内で調査を実施しました。北東から南西方向に流れる自然流路が多数見つかリ、弥生時代～古墳時代の遺物が出土しました。



調査地遠景（北東から）

期間 平成29年6月19日～
平成29年8月10日

成願寺遺跡 第23次

じょうがんじいせき

②

倉庫建設に伴い菅生町で発掘調査をおこないました。古墳時代の溝や土坑を確認した一方、ヒエ塚古墳の周囲に見られる凹地形の性格を検討する材料も得られました。



調査風景

期間 平成29年11月14日～
平成29年11月17日

平等坊・岩室遺跡 第36次

びやうどうぼう・いわむろいせき

③

宅地造成に伴い平等坊町で調査をおこないました。弥生集落の北側を流れる河道跡を検出し、そこから弥生時代中期～奈良時代にかけての遺物が出土しています。



調査風景

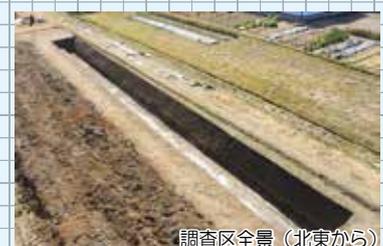
期間 平成30年3月6日～
平成30年4月17日

菅田遺跡 第2次

すがたいせき

④

個人住宅建設に伴い二階堂北菅田町で調査を実施しました。北側に次第に下がる旧地形が確認できました。顕著な遺構はなく、中近世の村落の縁辺に相当するようです。



調査区全景（北東から）

期間 平成30年3月7日～
平成30年3月19日

東乗鞍古墳 第2次

天理市教委・天理大学共同調査

ひがしのりくらこふん

⑤

東乗鞍古墳は乙木町に所在する全長約75mの前方後円墳です。古墳の構造や規模を知るための調査を実施したところ、前方部に設けた調査区から埴輪片が出土しました。



空から見た東乗鞍古墳（南から）

期間 平成30年2月12日～
平成30年2月24日

佐味遺跡 第4次

田原本町調査

さみいせき

⑥

田原本町南部の大字満田で農道工事に伴う発掘調査を実施しました。弥生時代中期の集落跡と古代の集落跡を確認し、多数の遺物が出土しました。



完掘状況（北から）

期間 平成29年11月29日～
平成30年1月20日

第Ⅱ部 豊田狐塚古墳の遺宝 —保存処理の成果から—

天理市石上町・豊田町の丘陵一帯には古墳時代後期～終末期の群集墳である「石上・豊田古墳群」が広がっています。

都市計画道路の建設に伴って古墳群の南端の丘陵部分を発掘調査したところ、豊田トンド山古墳（古墳時代終末期）、豊田狐塚古墳（古墳時代後期）の2基の横穴式石室が新たに見つかりました。

平成27年度の発掘調査で見つかった豊田狐塚古墳は、南に向かって延びる尾根の先端付近に築かれた直径20 m程度の円墳で、南向きに開口する横穴式石室がありました。調査区内には玄室全体と羨道の一部が含まれていました。玄室は天井石と側壁の上半が失われていましたが、床面から豊富な副葬品が出土しました。



豊田狐塚古墳の横穴式石室



玄門付近の遺物出土状況

豊田狐塚古墳の副葬品

豊田狐塚古墳は江戸時代後期に盗掘にあいましたが、出土品の一部は再埋納されたことが明治期の記録に残されています。今回の調査では、銅鏡・馬具・鉄刀・鉄鏃・玉類・須恵器・土師器など豊富な副葬品が出土しました。布留遺跡に拠点を置いた有力者を支える重要な人物の墓と考えられます。

金属製品の保存処理

出土した副葬品のなかには多くの金属製品（青銅製品・鉄製品）が含まれていました。金属製品は錆による劣化が進行してしまうことから、錆を食い止めて化学的に安定した状態にするため、早期に保存処理をおこなうことが重要です。保存処理の過程でX線写真の撮影や各種分析をおこなうことで、金属製品の構造や材質が明らかになることもあります。

平成29年度に豊田狐塚古墳の出土金属製品の保存処理を実施したことにより、金属製品を恒久的に保存活用することが出来るようになりました。



出土した須恵器

保存処理をおこなった出土金属製品（縮尺不同）



1



3



4



5



2



4



6

1 旋回式獸像鏡

直径約9.2cm。6世紀初め頃に作られた国産の銅鏡。

2 空玉

直径約2cm。中が空洞になった金属製の装身具。分析により銀製と判明。

3 轡

幅約29cm。馬の口にくわえさせて制御するための鉄製馬具。

4 杏葉

幅約11cm。馬の尻などを飾った飾り馬具。鉄板の表面を金銅で飾る。X線写真には中心の三葉文が浮かび上がっている。

5 雲珠

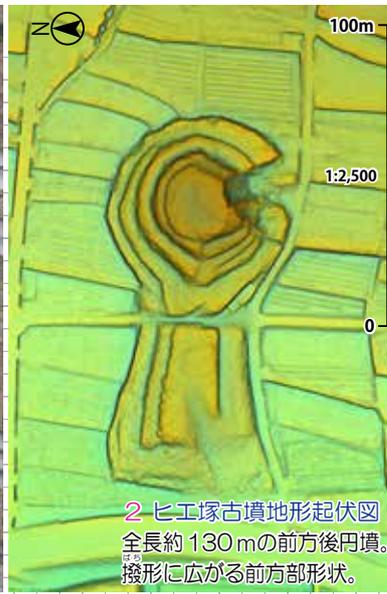
幅約11cm。革帯の交差点に取り付けられた飾り馬具。鉄板の表面を金銅で飾る。

6 捺じり環

幅約6cm。刀の柄を飾った金具。銀で装飾されている。付け根には鹿角が残っている。



1 ヒエ塚古墳航空写真
古墳の上は果樹園・畑や雑木に覆われている。



2 ヒエ塚古墳地形起伏図
全長約130mの前方後円墳。楕円に広がる前方部形状。



3 榊山古墳航空写真
双方中円墳とも呼ばれる特徴的な墳形だが、樹木に覆われている。



4 榊山古墳地形起伏図
後円部の東側にも方形の突出部が取り付いている様子がよく分かる。

第Ⅲ部 古墳の3次元測量調査

近年、地形の3次元情報を調査するための様々な測量手法が登場しています。

航空レーザ測量は航空機から地表に向けてレーザを照射して測定することにより、地形の詳細な3次元情報を取得する新しい測量手法です。草木に覆われた地表の形状も高い精度で把握することができます。

平成29年度は大和古墳群ヒエ塚古墳(1)、柳本古墳群榊山古墳(3)で航空レーザ測量を実施して、高精細な3次元画像〔地形起伏図〕(2・4)や等高線図を作成しました。

出動！ 発掘現場レポート！！

平成30年度上半期の調査

天理市教育委員会は平成30(2018)年度上半期に発掘調査を2件実施しました。ここではその成果をいち早くお知らせいたします。

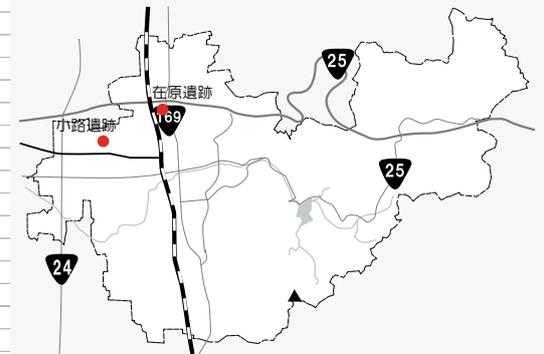
■小路遺跡第9次

宅地造成に伴い小路町で発掘調査をおこないました。自然流路2条以上を確認しましたが、出土遺物はほとんどなく時期は不明です。

■在原遺跡第6次

宅地造成に伴い石上町で発掘調査をおこないました。調査区北側で東西方向に流れる河道跡を検出しました。

平成30年度の調査成果は
来年度冬の文化財展で
展示するよ！



■平成30年度上半期の調査遺跡



■小路遺跡第9次
調査地遠景(北西から)

田原本町埋蔵文化財センターからのお知らせ

唐古・鍵考古学ミュージアム お問い合わせ 0744-34-7100
4月20日～5月26日に発掘速報展を開催します。詳細はミュージアムホームページで！
唐古・鍵遺跡史跡公園 お問い合わせ 0744-34-5500
4月下旬に開園一周年イベントを開催します。詳細は史跡公園ホームページで！
天理市教育委員会・田原本町教育委員会は文化財展示を連携して実施しています。

発行◆天理市教育委員会文化財課
天理市埋蔵文化財センター
〒632-0017 奈良県天理市田原町 441-2
Tel・Fax 0743-65-5720

印刷◆